

おや こ かわ あ っく  
親子で革ひも編みストラップを作ろう



★11月28日(土)午後1時より、小学校1年生から6年生を対象に主催事業『親子で革ひも編みストラップを作ろう』が体育館会場で開催されました。例年3月に開催されます『ふるる祭』で「革ひも編み」のコーナーを担当していただいている中者 正巳 氏 を講師にお招きし、児童16名とご家族6名が製作に参加しました。日に日に寒さがきびしくなるなかではありますが、新型コロナウイルス感染予防として、一定時間毎の換気や全員のマスク着用、随所にアルコール消毒液設置などの対策のなか、おこなわれました。

■今回作るストラップは2本の革ひもを使って、今年特に話題の市松模様に見えるように編むのがポイントです。「ふるる祭」での編み方よりちょっと難しく、2種類の編み方をする事で市松模様が出来上がります。長さ4cmを大人でも編むだけで1時間かかります。

◆工作①【革ひも編み】はじめに、くじ引きで決まった順にそれぞれ好みの色の革ひもを選びました。講師の掛け声によって、「編み方手順書」を参考にしながら、編みはじめます。わからない部分がある人には、当日ご協力のふたりのボランティアさんとふるるスタッフ3人がかけつけて教えます。



いつもの工作と違って、上手にできるかどうか？は学年の差はあまり関係がないようです。



◆工作②【革タグ作り】ある程度 革ひもが編みあがった人から、次は革タグを工作しました。水でぬらして柔らかくなった革板に自分の星座や干支の刻印をします。木づちで強く打刻するのは小さな子にはちょっと難しかったようです。十分に乾かしたら、薬をぬってから墨入れをします。墨入れをすると刻印がハッキリとしました。

最後に中者先生が作ってくださった市松模様の裏地をタグに貼り付けたら、革タグの完成です。



◆はじめに予想したよりも、多くの方は順調に革ひも編みが進んだようです。【革タグ作り】の席が空くのを待っているあいだに、再び材料を選んで2個目のストラップ作りをすすめました。



★今回は「革ひも編み」や「打刻」といった、特別な材料や道具をそろえないとできない工作でしたので、ふだんはできない体験をすることができました。

もっと「革ひも編み」にチャレンジしてみたい人はぜひ「ふるる祭」に参加してみてくださいね。